

令和元年度 牡鹿半島周辺・以北_貝毒原因プランクトン出現状況 (NO.7)

令和2年3月13日
水産技術総合センター

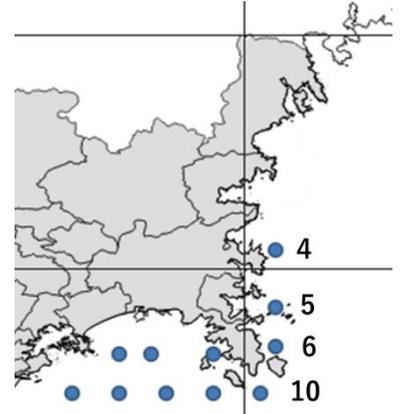
- 1 調査月日 令和2年3月13日
- 2 調査地点 右図の4定点
- 3 概要 (詳細は下表のとおり)

1) 水温: 表層で8.5~8.7°Cの範囲にありました。

2) 貝毒原因プランクトン出現数

・麻痺性貝毒原因プランクトン (*Alexandrium* spp.) は、St. 5~St. 10で20~810細胞/L確認されました。

・下痢性貝毒原因プランクトンの *Dinophysis acuminata* はSt. 4、St. 6~St. 10で30~60細胞/L、*D. fortii* はSt. 4及びSt. 5で10~30細胞/L確認されました。



調査地点図

調査結果表(4定点)

St.	時間 水深 (m)	測定層 (m)	透明度 (m)	水温 (°C)	塩分	貝毒プランクトン出現数(細胞数/L)						
						<i>Alexandrium</i> spp.		<i>D. fortii</i>		<i>D. acuminata</i>		他 <i>Dinophysis</i> 属
						3月13日	2月12日	3月13日	2月12日	3月13日	2月12日	3月13日
4	11:30 84.0	0	3.0	8.5	33.8	0	0	30	0	30	10	0
		10		8.4								
		20		8.3								
		30		8.2								
		40		8.1								
5	10:51 31.0	0	7.0	8.6	33.6	20	0	10	0	0	0	0
		10		8.5								
		20		8.4								
		30		8.4								
6	10:18 66.0	0	7.0	8.5	33.4	30	0	0	0	40	0	0
		10		8.3								
		20		8.5								
		30		8.5								
		40		8.5								
10	9:35 83.0	0	4.0	8.7	33.6	810	0	0	0	60	0	0
		10		8.4								
		20		8.4								
		30		8.5								
		40		8.5								

※貝毒プランクトンサンプルは0~20m層における柱状採水